

# 2025年度 入試問題分析シート

東北大学

前期日程 文系

| 科目 | 数学 |
|----|----|
|----|----|

総括

| 試験時間   | 100 分     | 難易度(昨年比) | 難化 | 昨年並 | 易化 |
|--------|-----------|----------|----|-----|----|
| 満点(配点) | 200~300 点 | 分量(昨年比)  | 増加 | 昨年並 | 減少 |

〈総論〉

昨年のようにどこから手を付けていけばよいかわからない戸惑うような問題ではなく、取り組みやすい問題セットとなった。手がつけやすいとはいえ、結果に至る過程をきちんと論じたり、最後まで正確に計算して完答するには苦勞する問題もあり、各問題に難易の差がつけられている。数学が苦手でも設問ごとに部分点は確保するようにしたい。数学が得意な受験生であれば、高得点も可能である。実力差が反映されるセットになっており、時間配分にも気を付けるようにしたい。確率、数列、ベクトル、微積分と東北大文系の頻出分野からバランスよく出題されていた。

〈特記事項・トピックス〉

- ①は理系①との共通問題、②は理系②との共通問題であった。  
 昨年は出題されなかったが、頻出分野の確率やベクトルからの出題があった。  
 ④は細かい設問に分けられておらず、東北大文系では珍しい。

〈合格への学習対策〉

難易度は年度によって上下するので、難度の高いレベル（昨年のようなレベル）を想定して対策しておくのがよい。高校数学全体から万遍なく出題されるが、頻出分野もあり、過去問の研究は必須である。特別なことをするのではなく、教科書に基づいた正統的な学習をすることが最優先であり、そのうえで様々なタイプの問題演習を積むのがよい。解決の方針が立つ問題については、ミスなく最後まで解き切ることやきちんと過程を記述することが重要である。また、難度の高い問題にも粘り強く取り組んで思考力を鍛えたい。駿台のテキストに沿って徹底した学習を積むことは極めて有効な対策である。

## 設問ごとの分析

| 問題番号 | 出題形式 | 範囲      | 分野・テーマ      | 特徴(内容分析・解答上のポイント)                                                                                                            | 問題レベル |
|------|------|---------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| ①    | 記述   | A       | 確率          | 反復試行の確率の問題で、教科書レベルであるが、問題文で訂正が出て、誤解する受験生もいたかもしれない。(3)は結果を論理的に説明することが肝心である。                                                   | やや易   |
| ②    | 記述   | II<br>B | 指数・対数<br>数列 | べき形を含む連立漸化式で定められる数列の一般項を、対数を利用して求める問題。(1)の誘導に従って正確に計算すればよく、完答を目指したい。                                                         | 標準    |
| ③    | 記述   | C       | ベクトル        | 四面体の3辺から定まる3つのベクトルを用いて空間内の点の位置や線分の長さを論じる問題で、ありふれたものである。(1)は底面積の比を考えればよい。(4)は内積を計算するのが普通である。                                  | 標準    |
| ④    | 記述   | II      | 積分法         | 2曲線で囲まれる2つの部分の面積が等しくなるような条件を求める問題。誘導設問がないので、文系の問題としてはやや難しく感じられるかもしれない。等積条件を、3つの交点のうち端から端までの一つの定積分が0になる条件として捉えることが最初のポイントである。 | やや難   |

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。